（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所みのりの家			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　２月　１５日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・就労に向けた事業所独自の課題や作業の確立。 ・就労するときにスムーズな移行ができるようにしている。	・利用児童の就労先を見学し、事業所での作業の様子・作業内容・注意すべき点など職員さんとの情報共有をし、みのりに持ち帰り、何ができるのかを検討し課題に落としたり、スケジュールへ落としたりし、さらには保護者さんへ情報を提供しています。	・すべての就労先への訪問ができておらず、まだまだ行きたいところや、新しくできた事業所にも足を運んで、子供たちの進路の選択の幅が広がっていけるように、保護者の実習選択の助けになれるようにしていきたい。
2	・みのり全体の視覚支援の充実。	・個々のスケジュールを用意し、児童たちが自分で自立を目指し動けるように実施している。 来られた時から、最後までの一連がスケジュールでできるように、またそのスケジュールにこだわりにならないよう、スケジュールの変更もできる臨機応変さに需要してもらえるように支援をしています。	・スケジュールの細分化や選択できるようにしたりと検討中です。
3	・保護者・ご家族への支援の充実	・保護者の困り感・日々でてくる悩み・家族への対応・学校への対応・児童の特性など悩みは尽きないところ。いつでも連絡できる状態をつくり、その都度対応・解決できるようにしています。 ・ご兄弟への対応もでき対応策を一緒に考えたりアドバイスをしたりしています。	・日々の解決を基本にしていますが、学校への対応をもう少し強化していきたいところです。 ・就労へ向けての不安感をもっととってあげれるように、施設見学を増やし、現場の声を持って帰り、保護者へ共有していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・大きなフロアがなく、2階に施設があるため、利用児童の制限や、活動の制限がかかってしまします。	・施設のバード面のところなので、簡単には変えることができない。	・ハード面のところは理解を求めることしかできないため、活動の内容を充実させていきます。
2	・不登校児童に対応しているが、連携がとれていない。	・保護者のレスパイトと児童の心のケアをしつつ両方から話を聞くことで相互の関係性の構築の助けになれるように日々頑張っているとことです。	・保護者の意向を踏まえて、もっと学校との連携をとっていきたい。
3	・保護者からの要望を全部は聞くことができず、「こんな情報がほしい」「こんな企画をしてほしい」など伝えてもらっているが、実際できていないことがある。	・できているところもあるが、知識不足の面や情報収集が追い付かないところもある。	・温めている企画を検討し、実施していきたく、そのための情報収集をし保護者に提供できるようにしていきたい。